



# 学校だより 7月

(URL <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/arai/>)



## できることから始めよう

校長 鈴木 由香里

新井オリンピックが終わってあっという間に時が過ぎ、もう明日から7月に入ろうとしています。そして希望制ではありますが、夏休み前の保護者面談が始まります。短い時間ではありますが、学校と家庭でお子さまの事について共有する有意義な時間にできればと思っております。どうぞよろしく願いいたします。

6月24日、保土ヶ谷公会堂で区の「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」が行われました。SDGsに基づく17の視点の中から、スピーチに盛り込む視点を選び、具体的な経験・体験をもとに自分の意見を述べるとともに共通のテーマ「国際平和のために、自分がやりたいこと」につながる具体的な夢や目標をスピーチするものです。区内の19の小学校が参加しました。本校の代表として6年生の大石怜奈さんが出場し、落ち着いて、堂々とスピーチすることができました。ここで大石さんのスピーチ内容を紹介します。

私は、日常生活の中で疑問に思うことがあります。ネットが普及してきて、生活が便利になった反面、人と人のつながりがうすくなっているのではないかと、ということです。たとえば電車に乗った時、多くの人がスマホを見ている。ひまつぶしにゲームをやっている人や、だれかと連絡をとっている人。目的はちがいますが、だれもが無言で画面を見つめてるばかりで、そこには楽しそうな会話や、笑い声は一切ありません。最近クラスでも、一人一台iPadが配られ、様々な場所で活用しています。先日、分からないところを友達に聞こうと、ふと周りを見わたすと、だれもが自分のiPadに集中していてその雰囲気からついに私は自分の聞きたい事が聞けないまま終わってしまいました。以前だったら気軽に聞けたし、周りの人も困っている自分の様子が気が付いてくれたのでは、と思いました。

人と人との関係がうすくなったことで、悲しい事件や出来事も目にするようになりました。その中でもよく目にするのが「ネットによるいじめ」です。ネットは1対1ではなく、たくさんの人が見ているために、何倍もの攻撃となって相手を傷つけてしまうのです。私は、人の気持ちを考えたりコミュニケーションを大切にしたりすることで、こうした悲しい出来事は減っていくのではないかと、思います。

私が考える持続可能な社会、誰もが受け入れ、受け入れられる世の中を作っていくためには、「人と人のつながりを守り、大切にしていく」ことだと思います。便利なネット社会に頼りすぎるのではなく、ITやネットを活用しながら相手の顔を見てコミュニケーションをとり、相手の気持ちを想像したり伝えたりしていくことが何よりも大事だと思います。私も毎日たくさんの人と関わっています。毎朝登校する時に優しくあいさつしてくれる地域の方、学校に畑を貸してくれていていねいに教えてくださるダッシュ畑の方、友達、家族、先生……。関わっているすべての人との「つながり」を、これからも大切にしていきたいです。

子どもも大人も、みんなそれぞれが国際平和のために何が大切かを考え、自分のできることから始めていきたいですね。